

ミズスギ

Lycopodium cernuum L.

ヒカゲノカズラ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類

国カテゴリー

該当なし

選定理由

生育地が少なく、開発可能な湿地や農地、林地、切り土された林道壁面などに見られる。(現況:Rー)

形態

小枝は葉を密につけ叉状に分岐する。葉はスギに似てさらに細く全体が柔らかである。孢子穂は小枝の先につき點頭する。

国内分布

北海道、本州、四国、九州、沖縄以北。

県内分布

外浦区、内浦区、中能登区、口能登区、加賀中央区、南加賀区。

生態など

常緑性、生長に伴い長くのびた枝は分岐し、地について根を生じる。繁殖は這う茎と孢子による。孢子は初秋から熟し始め、風で散布する。

生育環境

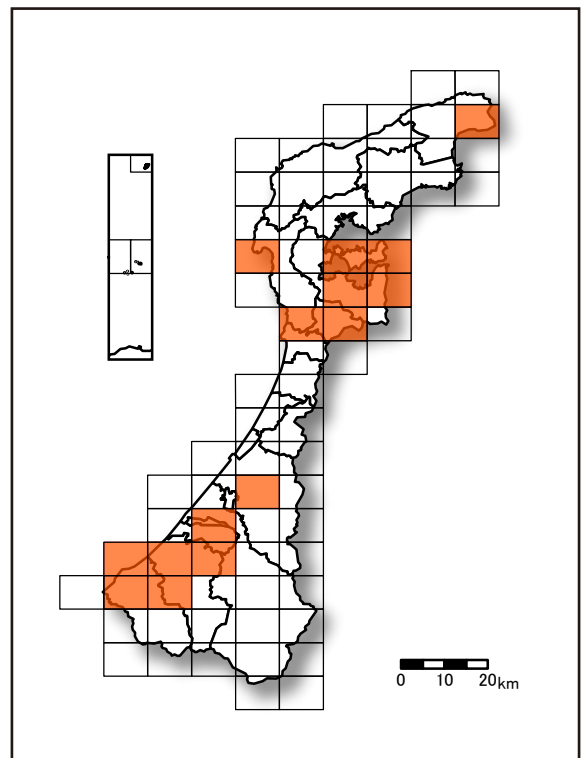
暖帯の湿地や湿った林道の法面、古い水田の土手など向陽地で酸性土壌地帯に分布する。群落にはしばしばモウセンゴケやホラシノブが加わる。

危険要因

土地造成、道路工事、湿地開発、自然遷移。



小野ふみゑ・2004年11月3日・珠洲市



県内の分布